



「国民医療費」過去最高を更新

総額40兆610億円、
1人あたり31万円超

厚生労働省の「平成25年度 国民医療費の概況」によると、平成25年度に病気やケガの治療のため医療機関に支払われた国民医療費（保険診療の対象とならない先進医療等、入院時室料差額分、健康診断等などの費用は含まない）は、過去最高の40兆610億円で、前年度に比べ8,493億円、2.2%の増加でした。

人口1人当たりの国民医療費は31万4,700円で、前年度の30万7,500円に比べて2.3%増加。国民医療費の対国内総生産（GDP）比は8.29%（前年度8.26%）、対国民所得（NI）比は11.06%（同11.14%）となっています。

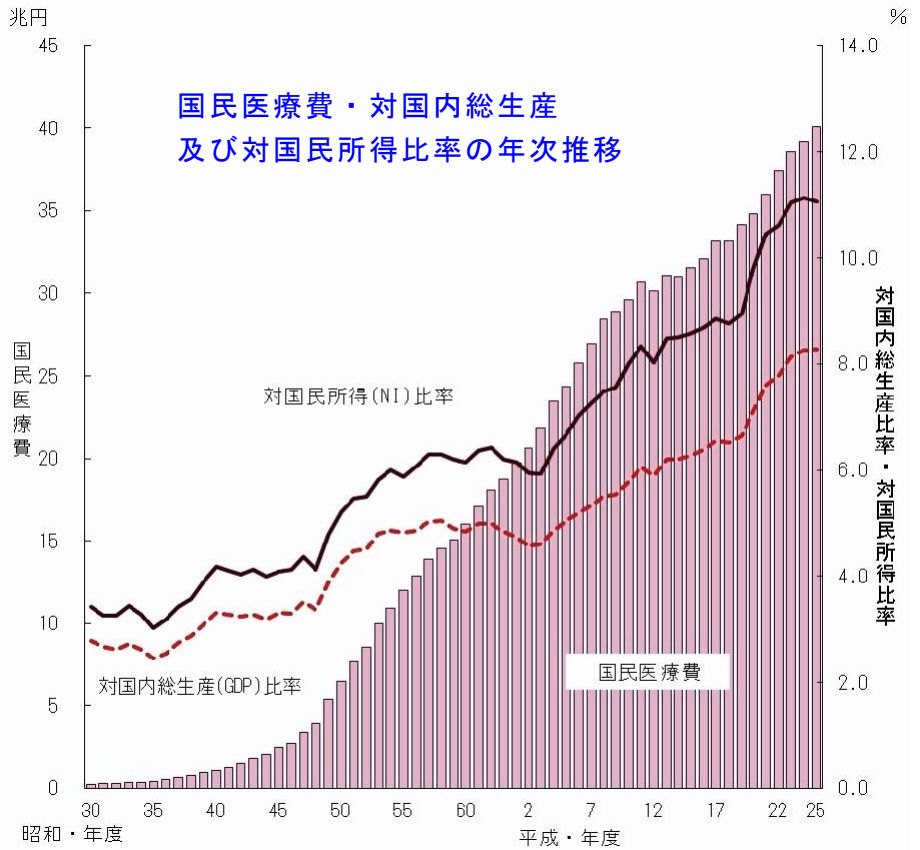
その推移は右のグラフのとおり増加の一途をたどっています。平成18年度は診療報酬のマイナス改定の影響で前年度より減少しましたが、平成19年度からはまた増加しています。その要因としては人口の高齢化や医療技術の高度化などが挙げられます。

診療種類別に見ると、医科診療医療費は28兆7,447億円（構成割合71.8%）、そのうち入院医療費は14兆9,667億円（同37.4%）、入院外医

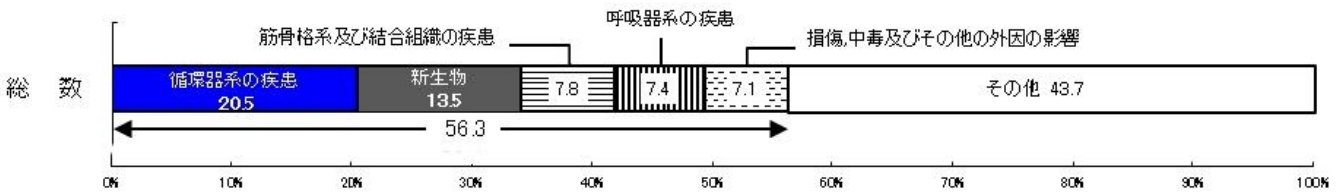
療費は13兆7,780億円（同34.4%） 兆8,817億円、次いで「新生物」3兆8,850億円、「筋骨格系及び結合組織系の疾患」2兆2,422億円、「呼吸器系の疾患」2兆1,211億円、「損傷、中毒及びその他の外因の影響」2兆466億円と続きます。

医科診療医療費を主傷病による傷病分類別にみると、もっとも多かったのは高血圧、虚血性心疾患、脳血管疾患などの「循環器系の疾患」5

兆8,817億円、次いで「新生物」3兆8,850億円、「筋骨格系及び結合組織系の疾患」2兆2,422億円、「呼吸器系の疾患」2兆1,211億円、「損傷、中毒及びその他の外因の影響」2兆466億円と続きます。



傷病分類別医科診療医療費構成割合（上位5位）（%）



（出典）厚生労働省「平成25年度 国民医療費の概況」

AIG富士生命保険株式会社

〒105-8633 東京都港区虎ノ門4-3-20
神谷町MTビル